

○ 7月11日（月） 移動（層雲峡～糠平～トナム～夕張～マオイの丘～恵庭）

4時15分起床。天気予報では曇りか雨だったのに、なんと天気は晴、気持ちのいい朝だ。長期予報では北海道はこれから当分の間天気が悪いとのことだったので、急ぎよ明日帰ることにしたのに、この天気！ 今日赤岳に登ればよかったな。もう決めたことだから仕方ないか。

登山者は思い思いに朝食をとって次々と出て行った。私は今日は恵庭まで移動するだけだから、みんなが出て行ってから、一人でのんびり朝食をとった。

7時15分層雲峡YHを出て糠平へ向けて南下した。途中の三国峠からはニペソツ山の雄姿が見えるのだが、今日は雲の中で視界がなかった。やはり天気は良くないようだ。

糠平湖に8時前に着いた。雨は降っていないが夜中に雨が降ったようで路面は濡れている。まだ朝早いので「ひがし大雪自然館」はまだ開館していないし、周りに人もいない。湖畔に下りて糠平湖を眺め一休み。



糠平湖畔の「ひぐま珈琲」



ひがし大雪自然館

湖畔の「ひぐま珈琲」でコーヒーでも飲みたかったが、開店が11時では、とてもそれまで待てない。先を急いだ。

懐かしのトナムに10時半に着いた。天気は快晴でめちゃ暑い。星野リゾート・トナムになってから若い人が増えて、今日もロビーは大混雑だ。館内をしばらく歩き回り、いつもは千歳空港で買っていたお土産をここの売店で買って済ませた。



昼に、これも懐かしい、というよりほとんど毎年寄っている夕張の「希望の丘」に到着した。

ここは寂れつつある夕張を元気にしようと、2009年に帯広の花畑牧場の田中義剛が夕張に、生キャラメルの工場と売店を作って住人の雇用を図ったのです。私が夕張を訪れたのはちょうど2009年で、奇しくもオープンしたその日でした。広い駐車場は車が満車で止める場所を探すのに苦労したほどで、夕張ってこんなに賑やかな所か！と印象深く、これで夕張も活気が出て、将来が楽しみだなと思ったのを思い出す。



工場のそばには「希望の丘」が作られ、花畑牧場のブランド豚「ホエー豚」をメインのレストランや、毎年開催される「夕張国際映画祭」にちなんで「映画博物館」、北野たけし(ビートたけし)の絵画を展示した立派な「たけし美術館」や、所ジョージのコレクションを展示した「所ジョージ館」などが建てられた。まさに一大レジャーランドが出来上がって、人が溢れていた。初めて訪れた夕張の印象は強烈で、夕張は私の北海道の旅で一番思い出深い土地となった。そんなわけで毎年夕張に寄るのを楽しみにして出かけてきた。

ところがブームが萎むのは早く、如何ともしがたい。行くたびに徐々に人が減ってゆき、生キャラメル工場は閉鎖され売店だけに。翌年にはレストランが閉鎖され遂には売店も映画博物館も、北野美術館も、所ジョージ館も閉められた。とうとう数年前には、花畑牧場も希望の丘も全て閉鎖され、馬鹿でかい駐車場と立派な建物だけが残され廃墟の郷となった。



板張りされた花畑牧場売店  
奥が生キャラメル工場



廃墟となったレストラン  
奥が たけし美術館



草 ぼうぼうのレストラン



ガラス越しに覗いた  
映画博物館内部



大 駐 車 場



レストラン前で昼食

今年は 3 年ぶりで希望の丘の廃墟を訪れ、草ぼうぼうのレストラン前の駐車場で草木に埋もれた生キャラメル工場を見下ろしながら、昼の弁当を食べた。なんとも悲しかった。思い出に浸りながら約 2 時間滞在し今日の泊予定の恵庭へ向かった。 天気は晴天、真夏の太陽が暑い。

途中 私の大好きな道の駅の一つで、何回も車中泊した「マオイの丘」に寄ってから、恵庭の温泉「ラフォレ」に入り、今日一日の汗を流した。今まで石鹸もシャンプーも無く 330 円と安かったが、今回入ったら石鹸・シャンプーが備えられていて 440 円に値上げされていた。それでも安いし、露天風呂もあるいい風呂で、恵庭に泊まる時は必ず入るお気に入りの風呂だ。

今日の泊地、道の駅「花ロードえにわ」は相変わらず車がいっぱいで混雑していた。ただ 駅もレストランも、産地直売の野菜売り場も全て 5 時半で終わるので、それ以後は車も人も減り静かになった。夕方 6 時前から夕食開始、ビールが旨い。

今年の北海道は数日で幕を閉じたが、「最終日に」と決めていた私の一番好きな道の駅・恵庭で夜を迎え、満足だ。

